

令和7年度内子町事業者伴走支援体制構築事業委託業務  
公募型プロポーザルの特定結果について

令和7年8月1日

標記の公募型プロポーザルについて令和7年7月31日に実施し、下記のとおり受託候補者を特定しましたので、公表します。

1\_件名：令和7年度内子町事業者伴走支援体制構築事業委託業務

2\_業務内容：町内事業者に対しての調査や伴走支援を通じて、町における経営や事業継承などの課題を明らかにした上で支援の在り方を整理・把握し、実際に支援する組織体制やスキームを構築するため、主に以下の業務を行う。

- ・30以上の事業者ヒアリングを行い、実効性の高い支援内容を検討
- ・町内事業者への伴走支援と、その対象事業者の選定
- ・歴史観光交流拠点施設の指定管理者が、将来的に支援事業を担えるよう実施方法・体制、支援対象にすべき事業者属性（規模・業種等）を検討

3\_受託候補者：デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社

4\_参考見積金額：17,333,000円（消費税及び地方消費税を含む）

5\_選考委員：委員長 片岡 由香（愛媛大学社会共創学部・講師）

委員 山岡 敦（内子町副町長）

委員 泉 徹（内子町商工会 副会長）

委員 森脇 三徳（内子まちづくり商店街協同組合 副理事長）

委員 畑野 亮一（内子町観光協会 事務局長）

委員 上山 淳一（総務課長）

委員 二宮 大昌（企画情報課長）

委員 高山 重樹（町並・地域振興課長）

6\_評価結果：得点 75.38点/100点（※参加事業者は1社でしたが、得点が60点以上だったので受託候補者として特定します。）

7\_審査委員長講評：1社によるプロポーザルであったが、事業実績は申し分ない。事業実施後のフォローアップに言及していることも評価できる。説明内容には可能性を感じたが、県外事業者ということもあり、地域性を考慮することを大切にしてほしい。取り残される事業者が無いよう、広報活動にも力を入れること。町では初めての取り組みということなので、当委員会メンバーを対象とした中間報告会を開催するなどして見守っていきたい。